

クラス番号	909	担当教員名	寺澤 法弘
テーマ	精神疾患体験者からの学び SW への一歩を踏み出そう		

ゼミナール概要

現在は多くの人が一生のうちで何らかの精神疾患を体験するか、身近な人が精神疾患を体験する世の中になってきました。人が社会で生きていく以上、他者とのコミュニケーションは不可欠ですが精神疾患を発症したことによって周囲の人が離れていく辛さを味わう場合があります。疾患の苦しみとは症状だけでなく、そのように社会で過ごす上での人との関わりにおいて生じる苦しみも大きいと考えています。

本ゼミでは精神疾患を持つ当事者とその家族に焦点をあてることによって、当事者と家族を理解する方法を身につける、当事者や家族を支援する多職種への理解を深めることを目指します。結果的に福祉・保健・医療の関連領域への考察を深める力を身につけることが目標です。

各自が興味を持つテーマを設定しグループで事前の学習を進め現場へ出かけて話を聞かせて頂きます。その報告をゼミ内で行うことを中心に据えます。その過程で必要な力を身に着ける取り組みをゼミ内で行います。

授業計画（基本的にはゼミ生と相談して具体的なことを決めます）

<前期>

- (1) 当事者・家族を理解する為に事前学習をおこないます
- (2) 当事者中心グループ・家族会のお話を聞きます。
- (3) 学生が当事者グループ・家族会へ出掛けて話をお聞きします。
- (4) 上記の体験による学びの成果をグループ毎に発表します。

<後期>

- (1) 医療・保健・福祉における専門職についての学習を深めます。
- (2) グループ毎にテーマを設定し現場へ出掛けていきます。
- (3) 上記の体験による学びの成果をグループ間に発表します。

希望者には夏季休暇等を利用して私が取り組んでいる実践(WRAP、SST)への同行や医療機関や家族会見学に関する相談にのります。2014年度は「お客さんとしてサービスを受ける施設見学ツアー」として名古屋市内的リサイクルショップ、食堂、ケーキ屋を営む精神保健福祉関連の事業所を訪問しました。2015年度は精神科クリニックでのSST実践を見学に出掛けました。

担当教員からのメッセージ



私は主に名古屋市内でSW（精神保健福祉士・社会福祉士）として精神保健福祉分野で実践を積んできました。精神疾患を体験された多くの方に出会いましたが「疾患を経験したからこそ体験できる事もある」との言葉をお聞きしたことがあります。その方からは人が生きる上での大切な事を学ぶことが出来ました。ソーシャルワーカーとはそのような体験ができる職業です。大学内での学びにとどまるのではなく、学外へ積極的に出掛けて様々な体験から学びましょう。私も皆さんと一緒に学び続けたいと願っています。